

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の概要

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等が著しい地域において、都市部等の住民を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化につなげていこうとする取組です。隊員は、おおむね1年以上3年以下の期間、観光振興業務や農林水産業の応援従事など、地域協力活動に従事します。

留萌管内は、平成29年度は25名が地域おこし協力隊として活動しました。

また、任期終了後も半数以上の協力隊OBが管内に定住しており、担い手不足やコミュニティ機能の低下等が進行する地域の活性化に寄与することが期待されています。

地域おこし協力隊員数

	H25	H26	H27	H28	H29
留萌管内協力隊員数	21名	23名	22名	22名	25名
北海道内協力隊員数	168名	225名	369名	540名	602名

(留萌管内：留萌振興局地域政策課調べ 北海道内：総務省調べ、各年特交ベース)

平成29年度留萌管内地域おこし協力隊の活動

【留萌市】

農業分野2名が幌糠農業・農村支援センターを拠点に、新技術（水耕・養液）栽培などの農業・農村支援活動を行いました。また、観光分野1名が観光・物産振興のための企画・実施及び観光施設を活用した集客促進活動を行いました。



【増毛町】

農業支援、観光振興、健康寿命延伸業務に4名の地域おこし協力隊が活動しています。増毛の魅力を高めるために、農業を学び、狩猟免許取得、ましけマルシェのイベント企画や地元飲食店の支援、運動教室の実施などの活動を行い、行政だけではカバーすることが難しい地域の課題解決に積極的に取り組んでいます。



【小平町】

モニターツアーやおびまるまつり、小平町観光地域づくりフォーラムの開催などの町外向けイベントの開催や地元のおまつりやサークル活動などの町内イベントへの参加協力などを行いました。



【苫前町】

苫前町は現在1名の隊員が活動しています。さまざまなイベント事業に携わり、観光事業の活性化に取り組んでいます。また、NPO法人と協力しながら、移住・定住促進のため、町外の方への苫前町の周知・イメージPRに自らの知識や経験を活かして活動しています。



【羽幌町】

天売地区観光振興業務担当は、自然ガイドによる定住を目指し北海道アウトドアガイド資格取得のための講習を受講したほか、近年の外国人観光客の増加を受け、天売島において観光事業者や一般島民を対象に日常会話を中心とした英会話教室や翻訳機器の紹介、翻訳アプリ



【初山別村】

地域内での観光イベントへの参加・協力や自ら企画した文化事業及びイベントの開催、地域伝統芸能継承活動などに参加し、活動を行いました。また、『まちづくり』や『働く場所の創造』として、一般社団法人の構成員としても活動し、カフェや自学塾の運営などを通して、地域の発展と今後の移住・定住の具体的な可能性を探る活動を行



【遠別町】

隊員は主に農業・集落支援の活動や情報発信等を行いました。その他、鳥獣害対策として女性隊員が狩猟免許を取得、男性隊員は前職のスキルを活かして地元農業高校のパン作りの実習の支援をするなど、計2名で活動しています。



【天塩町】

隊員個人の経験やスキルを活かし、「放課後学習サポート」などの学校での教育支援、また特産品の開発・リブランディングを行いました。教育支援活動をする隊員は学習塾開業に向けた準備、特産品開発等の活動する隊員は販売会社を起業するなど定住に向けた活動も実施しました。

